

## 競技注意事項

1. 本競技会は、2022 WA Competition&Technical Rules、2023年度日本陸上競技連盟競技規則、「競技会における広告及び展示物に関する規程」及び大会申し合わせ事項による。  
 ※使用可能なスパイク・シューズの一覧表 <https://worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information> 中の MANUALS&GUIDELINES World Athletics Approved Shoe List で最新版をご確認ください。毎週金曜日には更新されています。

2. アスリートビブスは競技者に①氏名、②番号、③氏名と番号の計3枚を配付する。  
 原則として、①を胸に、②を背につける。ただし、跳躍競技出場者は③を胸か背のどちらかにつけること。

3. 招集時刻は下記の通りとする。 【注意】

種別	招集完了時刻
トラック	15分前
フィールド	30分前
	(棒高跳17:20)

- ①招集完了後、トラック選手はスタート位置で、フィールド選手はピットで選手紹介を行うので、本人が出向くこと。  
 ②練習は、開会式の国旗掲揚時はやめる。  
 ③棒高跳の練習は16:30～  
 棒高跳の招集は競技実施直前に競技エリアで行う。  
 ④リレーオーダー用紙は競技開始時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

4. バーの上げ方

種目	バーの上げ方						
	練習	1	2	3	4	5	以降
女子走高跳	1m60	1m64	1m67	1m70	1m73	1m76	+3cm
	1m70						
男子棒高跳	4m80	5m00	5m10	5m20	5m30	5m40	+5cm
	5m20						

5. レーン順及び試技順は、実業団・学生チームの申し合わせによるスタートリストによる。
6. ①CR18.5及びTR7.2の適用により、不適切行為をこの競技会中に2回行った競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。  
 ②TR16.8の適用により、不正スタートした競技者は失格とする。
7. 競技場内での投てき練習は、1人2回までとする。
8. 競技に使用する用器具はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。  
 ただし、投てき用具は検査のうえ、個人所有のものを使用できる。投てき物の検査は用器具庫の前で競技開始時刻の1時間半前までに行う。
9. 対抗戦の第3位までの入賞者は表彰を行うので、競技終了後直ちに正面玄関本部に集合すること。  
 その際には2. ①のアスリートビブスを胸につけること。
10. ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。
11. 競技場内で練習ができるが、開会式(国旗掲揚時のみ)及び周回競技実施時は練習を中断する。サークル・助走路での投てき練習、助走路での跳躍練習、バーをかけた跳躍練習は競技開始前のみとする。

## 投てき用具一覧表

レモンガススタジアム平塚

種目	規格		設置数
男子円盤	スーパーHM	2kg	4
	スーパー	2kg	2
男子やり	ミディアム	60M	2
	ロング	70M	2
	スーパー	80M	2
	ノルディックオービット		1
	ネメト	85M	1
女子砲丸	4・00kg		
	鉄	径103	6
	鉄	径109	4
女子円盤	スーパーHM	1kg	4
	スーパー	1kg	4
女子ハンマー	4・00kg		
	ダクタイル	径95	4
	鉄	径102	4